

平成27年2月27日

## フィリピン共和国で地デジ日本方式を活用した 渋滞情報配信システムを実用化します ～新興国が抱える交通渋滞の緩和を目指して～

総務省は、地デジ日本方式の利点を活かした交通渋滞の情報配信システムの実証実験をフィリピン共和国で実施します。そのための平成27年度に実施する調査事業の実施者の公募を開始しました。

### 1. 概要

- 新興国では、経済発展に伴う自動車の増加により、都市部での交通渋滞が年々激化しています。そのため、ドライバーが最新の渋滞状況を容易に把握できるICTシステムの利用に対して強いニーズがあります。我が国では、渋滞情報をFM多重放送等で送信し、カーナビゲーションで情報表示するVICS (Vehicle Information and Communication System) が既に実用化されています。
- 一方、地デジ日本方式 (ISDB-T) は、放送によって情報を広範囲に伝達する機能 (データ放送) があり、防災分野や高度道路交通システム (ITS)、電子政府、遠隔教育等、新興国が抱える社会課題の解決に貢献することができます。
- このため、地デジ日本方式を採用したフィリピンにおいて、データ放送を活用した渋滞情報配信システムの導入可能性を調査することで、同国での地上デジタルテレビ放送の普及及び渋滞情報配信システムの導入を推進し、我が国のICT分野の国際競争力の強化を目指します。

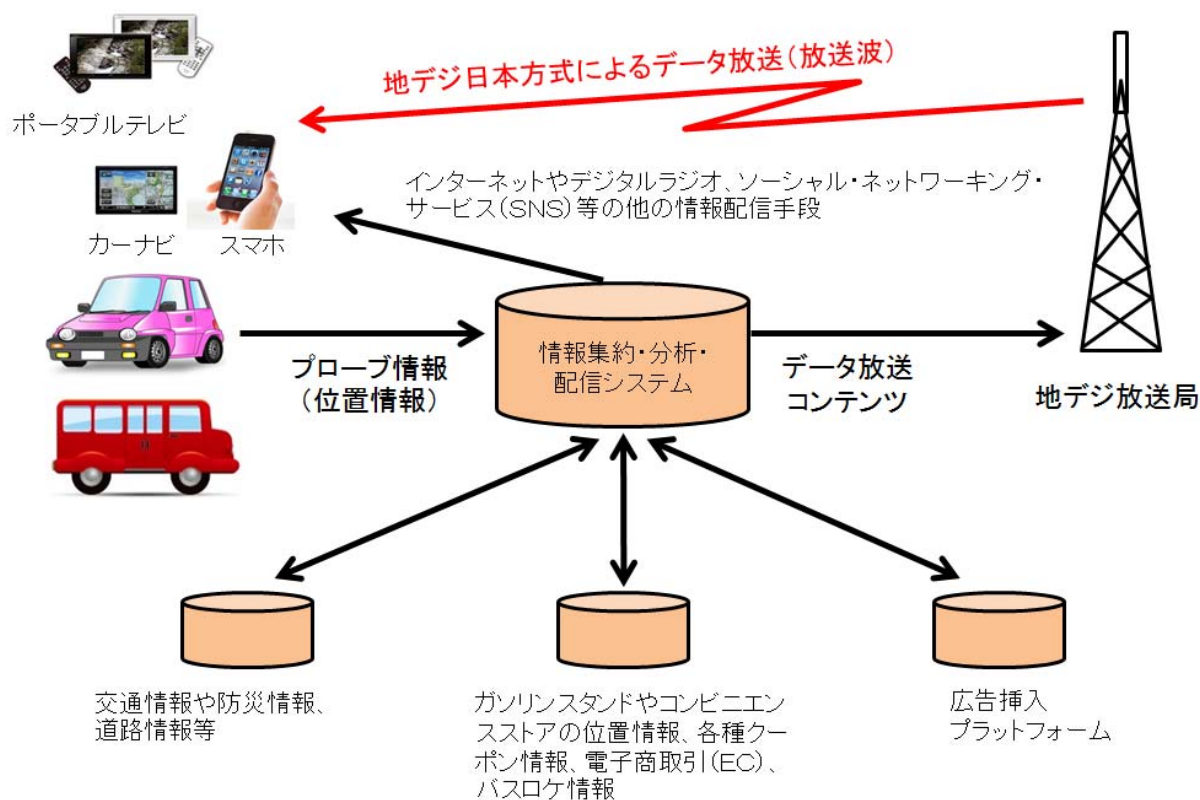
### 2. 調査事業の内容 (予定)

- ① フィリピンにおける渋滞情報配信システムの現地ニーズ
- ② システムモデル及びビジネスモデルのあり方
- ③ マニラ首都圏での実証実験 等

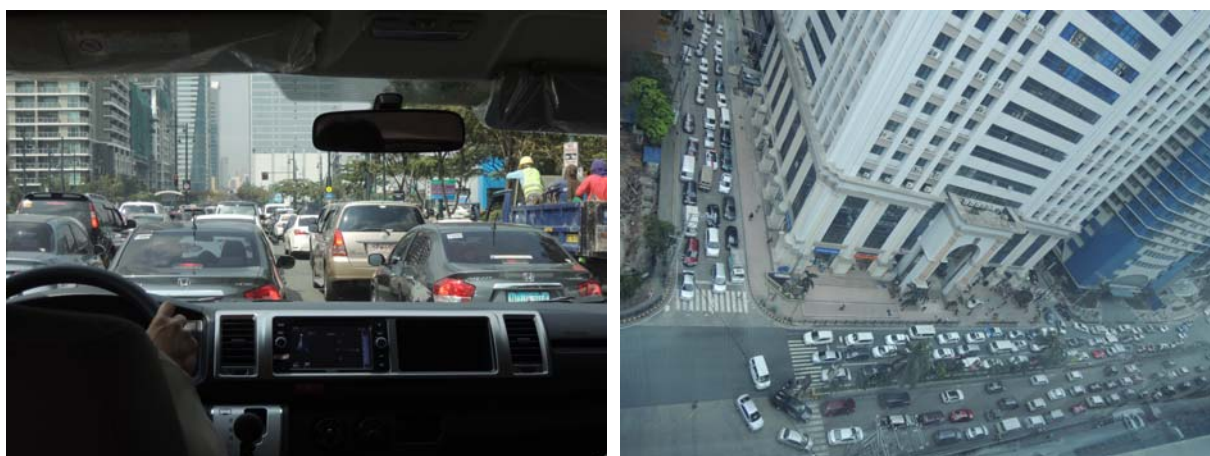
### 3. 実施時期等

- 本調査事業は平成27年度事業 (単年度) として実施します。
- 公募に関する詳細は総務省調達情報をご覧ください。  
[http://www.soumu.go.jp/menu\\_sinsei/cyoutatsu/index.html](http://www.soumu.go.jp/menu_sinsei/cyoutatsu/index.html)
- 実証実験はフィリピンの国営放送 (People's Television) と協力して行う予定です。

## 【参考1】 渋滞情報配信システム概念イメージ



## 【参考2】 マニラにおける渋滞状況



## 【連絡先】

情報通信国際戦略局 国際経済課 (地デジ総括ライン)

担当 : 加藤課長補佐、井出専門職、田中主査

電話 : 03-5253-5928 FAX : 03-5253-5930

電子メール: [infra\\_iead@ml.soumu.go.jp](mailto:infra_iead@ml.soumu.go.jp)

総合通信基盤局電波部移動通信課新世代移動通信システム推進室

担当 : 上野室長補佐、水井専門職

電話 : 03-5253-5896 FAX : 03-5253-5946

電子メール: [itsradio@ml.soumu.go.jp](mailto:itsradio@ml.soumu.go.jp)